成果の説明書

(氏名)内山 知一	(学部)経済学部
1 重要事項	
<p>まず初めに、教員免許状取得にかかわる主な手続きや注意事項の伝達などのために、各種ガイダンスを、課程履修者（予定も含む）向けに、複数回、開いた。また、実習期間の前後にわたって大きな問題が起きないように、事前・事後指導で、随時、相談を受け、後期末には、感染症防止のための休校措置などで次回派遣への影響が生じたため、善後策の立案に携わった。その他にも、免許カリキュラムの維持・向上などが円滑になされるよう、普段の業務や各種打ちあわせへの参加などで、適宜、かかわりを持った。さらに、今回は、課程認定に伴う訪問・評価などがあったため、事前準備や訪問時の質疑応答などを担当し、事後の指摘事項にかかわる資料作りなどにも取り組んだ。経済・経営専攻の免許課程の履修者は、当該領域の専門の情報に触れる時間は豊富にある反面で、カリキュラム上、やむを得ない面もあるが、指導法や現場に必須の各種業務に求められる力を習得できる場が限定されている。限られた時間で、このような現状も踏まえて、いかに、最低限の見識・技術などを獲得させられるかが大きな課題であり、今回は、その点を意識し、より適切な指導ができた。特に、受け入れ校では、生徒への影響を勘案し、赴任時に、板書・単元作りなどの授業の根幹を身につけていることが期待される傾向にある。そのため、既習事項を活かし模擬授業ができるような場を作るとともに、希望者には、指導案の書き方を複数回チェックし、授業力の向上を図った。加えて、校務の担当では、長期・短期でさまざまな仕事を受け持ち、取り組むことができた。</p> <p>次に、これまでの土台を元に、研究テーマをさらに掘り下げ、現在までに生じた課題も踏まえながら、検討を深めた。特に、単元のねらい・評価とのかかわりも念頭に、授業形態・発問の組みあわせによる効果の相違などに焦点を当て資料などを吟味し、さまざまな示唆を得ることができた。終盤は、感染症などによる、急な外部環境の変化に伴い状況が深刻化し、当初計画を変更しなければならなくなったところもあるが、今後は、そのことも踏まえて計画を立て、さらに検討を重ね、有意義な結果を得られるよう心がけていきたい。</p>	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>これまで、教員免許状の取得にかかわって、カリキュラムの大枠や履修者が抱える課題なども把握し、おおむね、有効に各種業務に取り組めた。今後は、この点をさらに発展させ、履修者により有益なガイダンスの開催や実習に向けた円滑な連絡・相談、優れた見識・技術の習得のための適切な指導などによって、現場で求められる力を身につけていきたい。特に、模擬授業にかかわる領域は、形式に慣れるところまでにとどまり、深い検討になかなか至っていない現状がある。この点も、より工夫を重ねることで、さらなる向上のための有効な場を提供できるよう準備を整えていく。また、研究面でも、資料などで得たさまざまな観点を踏まえて、引き続き、授業形態・発問のあり方を扱い、当該テーマを発展させていきたい。</p>	